

アリーナ計画の再検討を求める要望署名

■要望の趣旨

3月14日、西脇京都府知事が「アリーナは向日市に」と発表。その後8千席以上の収容数や343億円の整備費、2028年秋の完成とし、5月2日に事業者公募を開始しました。6月に入ってようやく「住民説明会」が開催され、4百人を超える市民が参加しましたが、説明はわずか10分足らず。市民の疑問に答える説明はありませんでした。

この説明会でも多くの方が表明されたように、市民の声を全く聞かずに計画を決めたことその他、アリーナができた場合の交通渋滞、生活環境悪化を私たちは大いに懸念しています。またあの場所には、公園や広場の整備を求める声が多いのです。また公営ギャンブルとしての競輪場を維持していくことに問題はないのかも問われています。

特に交通渋滞問題は多くの市民の不安です。「保育所のお迎え時間が渋滞に巻き込まれ、閉園時刻に間に合わなかったらどうしよう。延長料金もいる。」、「介護の送迎カーが渋滞にまきこまれたら大変だ」「競輪場に至る阪急東向日駅からの府道はメイン道路だが、歩道は狭く今でも事故が起きており危険だ」「前田地下道の周辺は今でも渋滞で玄関から車をだせない」などなど多く不安の声がされています。市長も7月4日府知事に道路渋滞の要望書を提出されていますが、その解決策はこれまで全く何も示されていません。

近年整備された各地のアリーナを調べると、周辺に公園が整備されたり、りっぱなアクセス道路や駐車場を整備するなど、しっかりしたまちづくりの計画のもとで進められています。今回のアリーナ計画は、あまりに安直ではないでしょうか。

私たちは、何ら具体的な対策が示されないままにアリーナ計画を進めてはならないと考え、以下の通り要望いたします。

■要望内容

アリーナ計画については一旦撤回し、以下の再検討を求めます。

- 1. 静かな市民生活の維持及び交通渋滞の不安を解消するためには、競輪場周辺の府道の整備が必須です。具体的な整備計画を明らかにしてください。
- 2. 市民が願うのは、子どもたちが自由にボール遊びや球技ができる広場や市民が憩える緑の公園の整備です。十分な広さをもった広場・公園を整備してください。
- 3. 市民の声をしっかり聞く機会を作ってください。

氏 名	住 所